

多くの歯科医師・歯科衛生士の方々が、今この時も全国各地で予防歯科に取り組んでいます。『LION Dent. File』では、時代の趨勢となっている予防歯科への潮流の中で、日々活動されている歯科医師・歯科衛生士の方々のさまざまな取り組みについてご紹介いたします。

東京都目黒区。都内でも人気の高い住宅地域にある田村歯科医院は開業20年。6人の歯科衛生士による定期健診での予防歯科を入り口に、患者ニーズに幅広く対応する多くの診療科目を掲げ、日々地域に根差した歯科医療を続けています。田村院長は52歳。診療科目を増やすために、自ら新たな学びを得て、予防歯科の最前線にいる歯科衛生士の学びには投資を惜しまず、子育て後の「生涯現役歯科衛生士」育成も視野に待遇への配慮にも取り組んでおられます。

**予防歯科の基本は「自分ごと」への自覚
通院の習慣づけは早いほど良い**

本格的な予防歯科への取り組みは12年ほど前からです。その経験からも「定期検診を受診される患者さんは歯の状態が悪くなりづらい」と感じています。最近のコロナ禍で通院を断念された患者さんがたくさんいますが、その後、久しぶりに来院された患者さんの歯の状態は、多くの方が悪化していません。やはり、予防歯科の大きなポイントは、ごく当たり前ですが定期的な検診の習慣であることが分かります。患者さんが定期検診を始めるきっかけで多いのは、保護者の方が「子供の歯の健康を守るために定期的な通院が必要」ということに気づいた時です。特に「ご自身が歯の健康維持に苦労された経験があれば、自分の子供には同じ思いをさせたくないと思われるようです。また、ご両親のいずれにも当てはまること



ですが、妊娠を知ったとたんに「子供の健康への関心」にスイッチが入ります。私もそうでしたが、親になる自覚がそうさせるのでしょうか。妊娠して母子手帳を

**患者が求める医療・サービスの
高いハードル**

**それを満足させるために
努力を続けて20年**

医療法人社団 かえる会 田村歯科医院

院長 **田村 良** 先生

す。勤務先が外資系やグローバル企業である場合には、口臭や歯の清潔さを含む口腔健康は、その人のビジネススマンとしての評価に直結します。定期検診はビジネス成功への必須条件でもあるのです。また、このような患者さんに対応するためには、医院側にもそれに応えられるだけの高い医療技術はもちろん、高い対応力・接遇力が求められます。電話の取り方、受け答えの正確さなど、要求も非常に高く、最近の電話の対応では、受け答えする人の名前まで言うのが普通になつていていると思いますが、当院ではそれを20年前から行っていました。これも、患者さんのニーズにお応えしていった一例だと思えます。

歯科衛生士のモチベーションを支える 働く満足度を高める環境の整備

これからの当院は、歯科衛生士が患者さんとのメインテナンスを通して人間関係を構築し、ドクターの治療と連携する基盤作りが重要だと考えています。予防歯科で中心的な役割を果たす歯科衛生士の働きにかかっているとはいえ、人数の多寡ではなく、歯科衛生士がどう考え、患者さんに対応していくのかが大切です。そのためには、二つのものが必要だと思えます。一つは技術です。医療技術を磨くことはもちろん、患者さんとのコミュニケーション技術も重要です。そして、もう一つはお金です。歯科衛生士の技術を高めるために必要な教育資金のほかに、働くモチベーションを高めてもらう給与や待遇改善など福利厚生のためのお金です。「自分が満たされていなければ、他人に対する貢献意欲は湧きにくい」というのが私の

持論です。だから、トータルで、「働く人の満足度を高める」ことに尽きると思っています。

そういった考えから、歯科衛生士の給与算定には歩合制を取り入れていきます。これは、「自分の成績」と同時に、「医院全体の業績」の両方に査定基準があり、どちらかというと後者の比率が高くなっていますが、互いに助けあいながら全体の業績をアップする。それがモチベーションアップにつながればと考えています。

人の生涯にわたり見続けられる口腔健康 歯科医師だからこそ味わえる大きな報酬

歯科医院の仕事が素晴らしいことの二つは、患者さんの人生を見続けられること、です。開業して22年になりますが、初診が小学生だった女の子が成長して結婚、やがてお子さんと一緒に通院されるのも珍しくはありません。おそらくこれが、私の今までやってきた積み重ねとその結果がもたらす、とても大きな報酬だと思えます。いろいろと診療科目を広げ、多くの方のニーズにお応えしてきたことを、心から「良かった」と思っています。患者さんたちにも、私たちのしてほしいことに応えてくれた」と思っていただければ嬉しいですね。



田村歯科医院のマスコット「かえる」グッズが院内のあちこちに



当院の考えを十分に理解し、実践してくれていた歯科衛生士が、結婚・出産で退職し、子供の成長を待つ職場復帰してくれるという嬉しいこともありました。当院のマインドを熟知している歯科衛生士の復帰は、何よりも頼もしくありがたいことです。

当院の未来については、大学の後輩でもある同僚の大久保先生が、私の経営マインドを熟知されていますので、あまり心配はしていません。ご本人は私の引退と同時に、「私も辞める」と言っています(笑)。当面は今を大事に、スタッフ全員で力を合わせて、患者さんと私たち自身のために当院を盛り上げていこうというところ。です。

田村良(たむらりょう)先生プロフィール

1994年、鶴見大学歯学部卒業後、都内歯科医院勤務を経て2001年、東京都目黒区にて田村歯科医院を開院。2014年、現所在地に移転し、医療法人社団「かえる会」を設立。医院のコンセプトは「カエル」にちなんで、皆様の笑顔にかえる「環境づくり」を目指すこと。

患者さんが主体的
セルフケアを続けられるよう
いろいろと工夫して
アドバイスしていきます



入社時に言われた
「新人はいるだけでいい」という言葉
新人と接する今になり、
その意味が理解できました

